

## 男女共同参画 WG より , 其他のお知らせ

春の年会において「男女共同参画社会に向けての懇談会」を開きます . いろいろな情報交換・意見交換をしたいと思っています . 奮ってご参加下さい .

日時 : 3 月 29 日 ( 月 ) 17 時 45 分 - 19 時 15 分

場所 : 第一学群 C 棟 405 号室

### **「科学技術系専門職の男女共同参画実態調査」に関して**

昨年秋に実施したこのアンケートは , 今年 3 月末に全体の報告書の作成に向けて作業をしております . 「男女共同参画社会学協会連絡会」の下に , 「アンケート分析 WG」を設けて , 主としてメーリングリストによって意見交換を行っています .

集まったアンケートは日本数学会会員の分だけで 502 名 ( 内訳 : 男性 440 名 , 女性 60 名 , 不明 2 名 ) と会員数の約 1 割に達しました . 他の学協会の回答比率でこれを上回っているものも多数ありました . 回答総数では 1 万 9 千人を越える大規模なアンケートになりました . 従って , この分析は当初の予想を上回る複雑な仕事になりそうです .

この調査は文部科学省の調査費の支援を受けている関係上 , 今年 3 月末までに全体の報告を作成することを優先します . 時間の圧倒的な不足もあり , 個別学会の分析に関しては , その報告書の作成後に開始することになります . これも多分容易なものではないと思います .

現時点でも , 全体の報告のために業者に依頼した分析の項目数は , 200 項目以上に及ぶ広範なものになり , あまりに野心的な調査内容を設定すると , 期日に間に合わなく恐れもあります . それ故 , 複雑な多変量の相関関係などは諦めないといけません . むしろ今まで , 想像や常識として認識されていた問題をはっきりと数値として明示することで , 今後の方針など立案のための問題点をきちんと浮かび上がらせることを期待しています . また中長期的には , 将来今後同種の調査をするときに備えて , 現時点でのきちんとしたデータを保持することも考えに入れていきます .